

# 聞いて！見て！触って！ 看取りのシミュレーションと身近な医療機器

2024年5月22日(水)・23日(木)、姫路メディカルシミュレーションセンターひめ mariaにて上記研修会を開催しました。看取りについての講演後、シミュレーション人形や医療機器を実際に“聞いて 見て 触って”体験をしていただきました。2日間で計47名の医療・介護職の方々にご参加いただきました。

## 姫路市医師会 訪問看護ステーション 看護師

森田 優子 氏に、事例や実際のご経験も取り入れながら、看取りの支援について分かりやすくご講演いただきました。

- \* 看取り期の一般的な身体的変化や兆候を理解し、支援しましょう
- \* 「いつもと違う」変化を感じたら、訪問看護師に情報共有してください
- \* 亡くなられていても119せず※1) 落ち着いて訪問看護等にご連絡ください
- \* 人生の最期を見送る気持ちで、ご本人・ご家族にかかりましょう

※1) 在宅看取り（施設も含む）の方針の場合



シミュレーション人形や医療機器を、五感を使って体験をしていただきました。各ブースでは質疑応答が活発に行われていました！



人工肛門(ストマ装具)



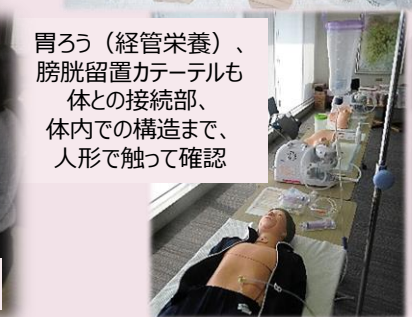
ストマ関連物品も実際に触って確認



在宅酸素



口、鼻、気管切開の吸引



胃ろう（経管栄養）、膀胱留置カテーテルも体との接続部、体内での構造まで、人形で触って確認



看取りのシミュレーション

## 【参加者アンケート回答より（一部抜粋）】

- ・実際に見て、触ることでイメージをもつことができました。わかりやすく、楽しい研修でした。
- ・普段よく見る医療機器でも、その仕組みを知る事が出来、とても勉強になりました。
- ・サ高住でターミナル中の方がおられるので、講習を受け実践ができそうです。
- ・看護師ですが、改めて学ばせていただいたことが本当にありがたかったです。
- ・看取りの担当者会議で周知することや確認する内容に活かせると思いました。
- ・その方の一生の最期を見送る気持ちで接するという言葉が印象に残りました。また、利用者様だけでなく、そのご家族への声かけの大切さも改めて感じました。